

令和6年10月11日

保護者各位

鳥栖市立旭小学校
校長 木村 嘉身

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和6年度全国学力・学習状況調査について

令和6年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「文の中における主語と述語との関係を捉える問題」や「目的や場面に応じて日常生活の中から話題を決め伝え合う内容を検討する問題」においては、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「読むこと」「思考・判断・表現」については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題」においては、全国の平均正答率を下回っており、さらには無解答率も高く課題が見られました。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「知識・技能」については、全国の平均正答率を上回っていましたが、「思考・判断・表現」については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・「除数が小数である場合の除法の計算問題」や「直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかの問題」においては、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかの問題」においては、全国の平均正答率を下回っており、さらには無解答率も高く課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・「朝食は毎日食べています」と回答した割合は94.3ポイント(全国は93.7ポイント)、「毎日、

同じくらいの時刻に寝ている」と回答した割合は 79.2 ポイント(全国は 82.9 ポイント)、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した割合は 90.6 ポイント(全国は 91.6 ポイント)となっており、“早寝・早起き・朝ごはん”の生活習慣がおおむね整っていることがうかがえます。

- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した割合は 98.1 ポイント(全国は 96.7 ポイント)、「人が困っているときは進んで助けている」と回答した割合は 92.4 ポイント(全国は 92.7 ポイント)となっており、「いじめは絶対に許さない」など相手を思いやる心が育まれていることがうかがえます。
- ・「普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム等をするのか」という問いに2時間以上と回答した割合は 53.7 ポイント(全国は 49.2 ポイント)、「普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴をするのか」という問いに2時間以上と回答した割合は 34.9 ポイント(全国は 33.8 ポイント)となっており、ゲームや動画視聴の時間が長く、家庭学習の時間の確保ができていない傾向にあることが考えられます。
- ・「国語の勉強は好き」と回答した割合は 65.1 ポイント(全国は 62.0 ポイント)、「算数の勉強は好き」と回答した割合は 66.1 ポイント(全国は 61.0 ポイント)となっており興味をもって学習に向かう姿勢が感じられます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすための手立て）

- ・児童理解に努め、日頃から安心して学べる学級づくりに取り組むとともに、一人一人を大切に学習を進めるように心掛けます。
- ・授業のねらいに基づく「めあて」と「まとめ」、「振り返り」を位置付けた分かりやすい授業を行います。また、自分の考えを書く学習活動を様々な教科において継続して行います。
- ・国語や算数、特別活動などの学習の中で児童同士が意見を交流する対話的な活動を積極的に取り入れることにより、児童の考えを深めたり広げたりするとともに、理解の定着を促すようにします。
- ・電子黒板やタブレット型端末を学習の中で効果的に活用し、個に応じた指導や分かりやすい授業を継続して行います。
- ・朝の時間を活用し、音読や四則計算、視写などに取り組み、基礎基本の定着を図ります。
- ・2学期及び3学期にも「あさひっ子学習の記録（家庭学習調べ）」の期間を設け、自主学習の推進も含めながら家庭学習の定着を図ります。

旭小学校教職員全員で児童の実態把握に努め、目指す児童像に向けて共通理解を図り、チームとして一丸となって「確かな学びの積み上げ」に向け努力していきます。

ご家庭でも次のようなことに心掛けてください。

1 家庭での学習時間をつくってください ※「家庭学習の手引き」参照

【学習時間：低学年30分以上、中学年45分以上、高学年60分以上】

◎学習時間の確保

- ・時間を決めて“机に向かう”習慣を身に付けましょう。無理なく継続できる程度で！

◎学習のための環境づくり

- ・“～しながら学習（テレビを観ながら、ものを食べながら等）”では効果が上がりません。落ち着いた静かな環境で学習に取り組みましょう。

◎見届け・励まし

- ・お子様が学習したことに目を通したり声掛けしたりしてください。
- ・褒めたり励ましたりすることでやる気はさらに向上します。

2 生活のリズムを整え、お子様とのコミュニケーションの時間を大切にしてください

◎早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしましょう。

◎学校での出来事や読んでいる本の内容について話し合しましょう。

◎お子さんが頑張ったことや良くできたことを、積極的に褒めましょう。

